

学校だより

市立札幌豊明高等支援学校

平成30年3月23日発行
第10号

早春の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、去る3月10日に、本校第39回卒業式を行い、おかげさまをもちまして、あたたかい雰囲気の中に無事終了できましたことを、職員一同心より感謝申し上げます。

また、本日、退職、異動する職員の紹介がありました。

最終号では、離任する職員からのメッセージをお伝えいたします。



☆離任される方々からのご挨拶☆

<教頭> 益満 等之 先生 (北翔養護学校へ)

早いもので、教頭で2年、通算で12年間の豊明での時間が過ぎ去りました。たくさんの生徒のみなさん・保護者のみなさんと出会い、たくさんの元気をもらいました。本当に感謝しています。「豊明の教え 心に響く わが友よ 望み秘めて 今日生き抜こう 命の限り」この校歌の歌詞を忘れずに、これからも精進していきます。お世話になりました。

<教諭> 相馬 雅広 先生 (定年による退職)

昭和55年(1980年)4月に新卒で教員になってから38年間の月日が経ちました。8校に勤務しましたが、今考えると一瞬の出来事だったようにも感じています。皆さまにおかれましてはお元気で過ごさるよう祈念しています。老兵は静かに去るのみ。

<教諭> 立野 聖子 先生 (定年による退職)

お世話になりました。生徒の皆さんと一緒に過ごせて楽しい毎日でした。皆さんが、一つ一ついろいろなことが、できるようになっていくのがとてもうれしかったです。学校から離れることになり、とてもさみしいですが、ある保護者のおじいちゃんが、「これからも楽しいですよ。」って言ってくださったのが、励みです。

これまで仕事を続けてこられたのは、皆様のおかげです。本当に感謝しています。ありがとうございました。

<学校業務員> 関戸 智恵 さん (定年による退職→山の手養護学校高等部へ)

5年間お世話になりました。生徒の皆さんと一緒に作業が出来て、とても楽しい日々を過ごさせていただきました。ありがとうございました。5年間本当にお世話になりました。



<教諭> 長内 伸子先生 (篠路中学校特別支援学級へ)

長い間お世話になりました。これからは中学校での教育活動に参加することとなりました。

多くの出会いや別れがありましたが、豊明で出会ったすべての方に感謝をしています。生徒の皆さん、保護者の皆さま、教職員の皆さまのご多幸をお祈りしています。

<教諭> 平森 静 先生 (丘珠中学校へ)

15年間お世話になりました。音楽が好きな生徒が多く、毎回の授業や行事で元気に楽しく合唱している姿からいつも元気をもらいました。学校祭では、ステージ発表の本番で100%力を発揮できることが素晴らしいと思いました。豊明で過ごした日々を励みに、これからまた新しい学校で頑張っていきたいと思います。今まで本当にありがとうございました。

<教諭> 西田 恵美子先生 (篠路西中学校特別支援学級へ)

大好きな豊明の皆さんとお別れすることはとても寂しいです。家庭科で成長する姿を見るのも何よりの楽しみでした。また、保護者の皆さんと一緒にPTA活動を見直し、たくさんお話できたことで多くを学び、充実した日々となりました。今後の発展を心よりお祈りしています。長い間本当にお世話になりました。全ての出会いに深く感謝申し上げます。

<教諭> 松見 浩平 先生 (みなみの杜高等支援学校へ)

ふりかえれば、着任してから14年が過ぎていました。卒業生を3回送り出し、進路指導担当として、卒業後5年勤務で表彰される卒業生を見届けたこと、そして、着任以来所属してきた産業科紙工班の終了を見届けたことが、豊明での大切な思い出です。市立札幌みなみの杜高等支援学校に異動しますが、本校の卒業生と一緒に着任することになりそうです。これまでのご厚情に感謝するとともに、皆様のご多幸をお祈りいたします。

<教諭> 吉本 方美 先生 (みなみの杜高等支援学校へ)

豊明では、多くの生徒の皆さんや保護者の皆様と出会い、たくさんのことを学ばせていただきました。どの出会いも私にとってはかけがえのない宝となりました。豊明が大好きです。これからも豊明のサポーターとして皆さんのことを応援させていただくと共に、皆様に幸多かれと祈念しております。これまで本当に、ありがとうございました。

<教諭> 穴澤 陵多 先生 (札幌中学校特別支援学級へ)

学年が上がるにつれて、身体的にも精神的にも大きく成長していく生徒の皆さんの姿を見て、「自分も、もっと頑張らないと!」といつも思いながら、そして、活力をいただきながら7年間を過ごしておりました。日々の活動の中で頑張る皆さんの姿、輝く笑顔、みんな大好きでした。今後は、中学校での勤務となりますが、先生も頑張りますが、皆さんも頑張ってください!皆様のご健康とご活躍を心より祈っております。ありがとうございました。

<教諭> 佐野 真弓 先生 (山の手養護学校小学部へ)

豊明で生徒の皆さんと一緒に過ごせた4年間は私にとっても学びの多い、かけがえのない時間でした。皆さんが頑張り、成長していく姿を見て、たくさんパワーを分けていただきました。生徒の皆さん、保護者の皆様、教職員の皆様方に、この場を借りて心より深く感謝申し上げます。

<教諭> 北山 亮 先生 (北翔養護学校へ)

4年間お世話になりました。短い期間でしたが、みなさんと過ごした充実の日は貴重な思い出です。豊明を離れるのは寂しいですが、いつかどこかでお会いした時には成長した姿が見られることを期待しています。いろいろな場面で支えてくださった保護者の皆様、教職員の皆様、ありがとうございました。新天地でも元気に頑張ります。

<教諭> 松本 寛之 先生 (再任用→清田高等学校へ)

一年間という短い期間でしたが、豊明の生徒の皆さんと過ごした日は忘れられない日々となりました。これからも明るく元気な豊明の生徒らしく頑張ってください。どこにいてもずっと皆さんを応援しています。保護者の皆様、教職員の皆様、一年間大変お世話になりました。心から深く感謝申し上げます。

<教諭> 今井 学 先生 (期限付任期満了→北翔養護学校へ)

豊明での3年間という長いような短いような期間でしたが、担任を持つなど、私にとって充実した日々を過ごすことができ、良き思い出がたくさんできました。ありがとうございました。豊明の皆さん、これからも頑張ってください。そして保護者の皆様、3年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

<教諭> 辻 るみ子 先生 (期限付任期満了)

以前もお世話になった豊明で、また働かせて頂いた3年間、とても充実した日々を過ごすことができました。作業などの授業や行事を通し皆さんと触れ合うことのできた時間は私の宝物です。豊明は離れますが、今後も陰ながら応援しています。お世話になりました全ての皆様、今までありがとうございました。

<教諭> 佐藤 詩朗 先生 (期限付任期満了→北海道伊達高等学校へ)

本当に短い5ヵ月のお付き合いでしたが、1年位いたような気がしています。やっと戻ってきた札幌でした。でも、もう一度田舎周りをして子供たちと接したいと、この学校に来て思うことができました。教員の原点に戻れた職場だったように感じています。ご迷惑ばかりの5ヵ月でしたが本当にありがとうございました。

<教諭> 岩田 憲佳 先生 (期限付任期満了)

3月1日からの短い期間でしたがお世話になりました。札幌の学校に来てまだ3年しかたっておらず、豊明に来る前は中学校だったので、久しぶり(5年ぶり)に高校生と学校生活を送れて楽しかったです。1ヶ月間という短い間だったので、あまり豊明に貢献できませんでしたが、教職員の皆様、保護者の皆様、そして、生徒のみんな、ありがとうございました。



<教諭> 前川 慈彦 先生 (再任用任期終了)

普通高校6校を約30年勤務後、教員生活最後の締めをいかようにすべきか思い悩み、これまで経験の全くない特別支援の本校を希望しました。まさに何もかも新鮮な経験をさせていただきました。そして、豊明の多くの生徒の純真さに触発させられて、ややマンネリ化していた生徒への思いをリフレッシュしてもらいました。深謝します。

<教諭> 吉富 宏 先生 (再任用任期終了)

退職までの6年間と再任用5年間、合わせて11年間に渡り、お世話になりました。自分の教職生活でこれだけ長きにわたって一校に勤務したことはありません。それもこれも、やさしい生徒と理解ある保護者の皆さんのおかげと改めて実感しています。本当にありがとうございました。

☆4月から引き続き勤務される先生方からのご挨拶☆

<学校業務員> 渡邊 加津子 さん (定年による退職→再任用)

3月末をもちまして、定年退職を迎える事となりました。ご縁があって、もう少し豊明で一緒させていただきます。来年度もよろしくお願ひ致します。



4月 9日(月) ○持ち物…上靴・ジャージ・エプロン・三角巾・歯磨きセット・筆記用具・ハンガー等

○靴箱…新2年生は前年度の場所を使用します。

新3年生は3年の自分の番号の場所を使用してください。

○教室…新2年生は前年度の教室に、新3年生は3階3年生の教室に登校してください。

○新担任・副担任、学級(新2年生のみ)は始業式の中で発表になります。

朝の会:教室移動

1校時:着任式・始業式

2~4校時:LHR(入学式練習、式歌練習、学級写真撮影、個人写真撮影他)

給食あり

昼休み12:45~13:10 (2年外靴移動、入会式練習)

5~6校時:LHR(入学式会場準備他)

スクール便は15:05

4月10日(火) 平成30年度第42回入学式 午前で下校

スクール便は11:50

給食なし

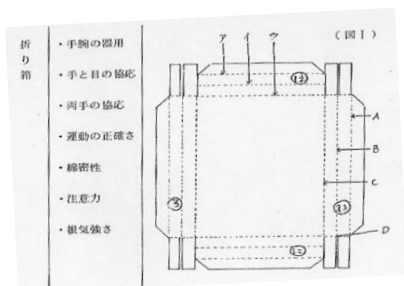


シリーズ・学科紹介

産業科 紙工班

本年度で産業科紙工班は長い歴史に終止符を打ちます。そこで、紙工班が材料を提供していただいていたモリタ株式会社と産業科紙工班の歴史について紹介します。

本校が、昭和52年4月 札幌市立豊明養護学校（普通科）として、旧豊平小学校校舎の一階一部を改修して開校した際、卒業生の進路開拓に向けて、進路担当者が、飛び込み営業で現場実習先を開拓していました。その際、モリタ株式会社の先代社長が、当時の進路担当者の熱い想いに共感し、基礎作業班の教材として紙製品の材料を提供してくださったのが、豊明とモリタ株式会社のかかわりの始まりです。



開校5周年記念の研究紀要に当時の普通科の作業学習の指導案が掲載されており、その中の基礎作業班年間指導計画案の中に5月～11月の作業として「紙おり」「箱折り」の記載が残っています。当時は、デパートの商品券箱、ワイシャツの箱を折っていたようです。

昭和57年には、基礎作業班を廃して、紙工作業班が編制されました。これが紙工班の直接の前身となります。開校10周年研究紀要（昭和61年）に当時の作業内容が記されています。

昭和57年度は、商品券箱、ギフト箱、ワイシャツ箱

昭和58年度は、手付け袋

昭和59年度は、御礼箱、建築用丸段ボール抜き

昭和61年度は、セラミック抜き

月	1学年・単元	月	2学年・単元	月	3学年・単元
4	・空割り ・建築用丸ボール	4	・組立箱	4	・組立箱
5	・組立箱 ・建築用丸ボール	5	・組立箱	5	・組立箱
6	・組立箱	5	・組立箱	6	・組立箱
7	・組立箱	7	・組立箱	7	・組立箱
8	・組立箱	8	・組立箱		

と年々作業内容の幅を広げていきました。また、1学年は校内実習（20時間）を9月に設定し、紙工作業班の内容を全員で取り組んでいました。



昭和60年 札幌市立豊明高等養護学校に校名変更し、平成5年4月 新校舎（北区西茨戸）に移転。職業科を開設（産業科、木工科、工業科、家庭科、クリーニング科）。産業科は紙工班、窯業班、印刷班でスタートしました。当時の紙工室の写真が開校記念誌に載っています。作業内容は現在とほぼ同じですが、作業服は今と異なり、折っている箱の数が桁違いに多かったことがわかります。

また、職業科に移行したことにより、財務規則が制定され、市長と社長が契約を締結し、作業製品の売上金は、すべて札幌市の収入となりました。そしてその収入をもとに、次年度に作業材料費の一部として学校に予算が配当されることとなりました。

平成30年2月2日には、こうした長年の特別支援教育への貢献が認められ、札幌市長よりモリタ株式会社の守田敏治社長が表彰されました。紙工班からも、2月14日に代表生徒3名が会社訪問をし、社員のみなさまに手作りのレターセットを贈呈しました。



シリーズ・学科紹介

木工科

木工科では主に「地質調査箱」を製作しています。「地質調査箱」とは、建物、橋、トンネル等で基礎を造るために硬い岩盤までの地質を調査するのに使うものです。豊明では旭川の近くの鷹栖町にある業者から委託されて製作しています。今、豊明で作っているものは、北海道新幹線の余市トンネルの工事で使われているそうです。かつては、沖縄でも使われたことがあったそうです。震災の復旧、東京オリンピック、新幹線の工事等、需要はたくさんあります。

一度に300台分の部材を運んできてもらい、150台ほど製作すると取りに来てもらいます。昨年までは1年に、6回運んできて、12回持って行ってもらう、つまり年間1800台ほど作っていました。

作業には、印刷や印付け等、たくさんの工程がありますが、主なものは、①枠板組み立て→②底板釘打ち→③中仕切り釘打ち→④取っ手付け→⑤仕上げの5つになります。一人で全工程をやるよりも、一人1つの工程を受け持ち、流れ作業でやった方が速いことは、実際に生徒がやってみて分かっています。どの工程を受け持つかは、その日の残り具合や生徒の欠席状況等で変わります。木工室に入って来たら、その日の自分の工程を確認し、目標をノートに書いて、指導者に見てもらいます。作業が終わったら、反省を書いて、指導者にアドバイスを書いてもらいます。目標と反省は、初めの会と終わりの会で、全員の前で発表します。初めは一つひとつ指示を受けていた生徒が、一人でやれるようになり、完成度も上がり、上質な製品ができるようになっていきます。教育実習や介護等体験で来た大学生がその完成度の高さに驚きます。

